

令和5年度 学校だより

2月号

横浜市立上郷小学校

〒247-0026 横浜市栄区犬山町6番1号

電話 045-894-0761

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo/>



上郷

自分の命は自分で守る

副校長 亀田 泰紀

令和6年能登半島地震により亡くなられた方へのお悔やみと、被災された方々にお見舞い申し上げます。被災地では震災から3週間経っても教育活動再開の見通しが立たない学校があり、中学生が親元を離れ集団避難をする様子が報道されていました。たださえ震災により先の見えない状況の中、家族と離れて生活しなければならない子どもたちの不安な気持ちを考えると心が痛くなります。被災された方々が一日でも早く日常生活が取り戻せるよう心からお祈り申し上げます。

さて、国の地震調査委員会によると、首都圏でも今後30年以内に70%の確率で大きな地震が起きると発表されています。科学が進んだ現代においても地震はいつ起きるかわからず、日頃からの備えが大切になります。学校では「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つの領域からなる安全教育を実施しています。「災害安全」に関しては、年間を通して様々な場合を想定した避難訓練を行っています。具体的には、地震から火災が発生した場合の訓練、休み時間に地震が起きた場合の訓練、予告なしの訓練、大規模地震後の方面別下校訓練や引き取り訓練などが挙げられます。揺れたら机の下に隠れる、近くの大人の指示に従う、騒がず落ち着いて行動する、物の倒れてこないところに逃げるなど、繰り返し訓練を行うことで、子どもたちが瞬時に身を守る行動ができるよう発達段階に応じて指導しています。安全教育において何より大切なことは、「自分の命は自分で守る」という自助の実践力を育むことです。危険を察知し、自ら安全な行動をとることができる子どもを育てるために、これからも学校では避難訓練や防災学習に真摯に取り組んでいきます。

ご家庭におかれましても、いざという時の備えや対応について相談されているかと思います。改めて、学校から年度当初に配付しました「各種警報発令・災害・地震発生時の児童の登下校について」の内容や、通学路や習い事に行く道の災害時の危険個所などを確認していただきたいと思います。また、栄区役所では、栄区オリジナルのKYT（危険予知トレーニング）教材を作成しています。横浜市消防局も動画等により防災を学べるウェブサイト「よこはま防災e-パーク」を開設しています。それぞれ親子で楽しみながら防災について学べるコンテンツになっています。ぜひご活用ください。

地域では、定期的に上郷小学校地域防災拠点運営委員会が開かれています。1月の運営委員会では、2月11日（日）に学校にて行われる地域防災拠点訓練の打ち合わせが行われました。当日は、ハマッコトイレ（災害用トイレ）の設置、体育館避難場所の区分け、AED講習などの訓練が行われる予定です。多くの方に参加いただき、「地域の人々が互いに助け合うことで、地域の人々の命を守る」共助の意識を高め、減災の実現につなげていければと思います。よろしく申し上げます。

栄区 KYT(危険予知トレーニング)教材 QRコードです

